

# 六花の輝き

<教育目標>

喜んで登校し、  
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25  
TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188  
E-mail takashi@jorne.or.jp

## ◎よい授業・・・

校長 遠藤 和英

以前、ある研修会でよい授業のために心掛けていることを話してくださいと言われたことがあります。そのときは、哲学者の森信三氏の大好きな言葉を借りて『時を守り、場を清め、礼を正す』ことです』と答えたことがありました。

### ◎時を守る・・・とは

文字どおり、時間や期日を守ることです。授業の始めの時間を守ったり、予定どおりに進まないからといっていたずらに授業を延長したりしないこと。

### ◎場を清める・・・とは

教室内の整理整頓をして、また、授業のための準備をしっかりして授業に臨むこと。

### ◎礼を正す・・・とは

気持ちのよいあいさつや返事を大切にすること、また、何かしてもらったら「ありがとう」失敗したら「すみません」と返すこと。

このことは今でも大切だと感じていますし、実際に大切にしよう心掛けています。しかし、令和の時代に入った今、よい授業のために心掛けていることは？と聞かれたら、自分はいったいどう答えるだろうと考えてみました。

少し前までは、教師に望まれていたのは、知識や技能を効率よく教えることです。しかし、インターネット等で最新の知識などがすぐに手に入る社会の変化とともに、子どもたちに要求されていることも変わってきました。もちろん、計算や漢字など、昔から読み書きそろばん・・・と言われてきた学習の基礎になる事項については、今もしっかり覚えることが必要です。しかし、現代の子どもに要求されているのはそれだけでなく、言葉にすると「思考力・判断力・表現力を育成すること」「学びに向かう力を育成すること」とです。別の言葉で言うと、「授業で学んだことをどう考え、どういかしていくか」を学ぶことが大切だと言われています。子どもたちがこれらの力を身に付けるためには、授業の中で、「疑問に対して自分なりに考えたり、相談したり」、「学んだことに対して他にも同じようなことはないか考えたり」、「自分が感じたことを友達に伝えたり、議論したり」という活動が欠かせません。私たち職員も、このような力を付ける授業になるよう、自分の授業を見つめ直し、変化させていくことが必要になってきました。

きっと、今、よい授業のために心掛けていることは？・・・と同じ質問をされたとき、自分なら、「まずは楽しい授業をすること、そして、子どもを自分からやる気にさせる授業をすること」と答えると思います。ただ、答えるのは簡単ですが、やってみると実に難しいです。私も、職員が出張の時など、たまに授業を担当するのですが、子どもを自分からやる気にさせるのって、本当に難しいです。今後も、子どもたちに必要な学力をつけるため、各教室で行う授業がより充実するよう職員と一緒に努力していきます。

## ◎ありがとうございました

P T A環境整備部の方を中心に、運動会前にはグラウンドの環境整備を、また、先日は校内の窓などの高い部分の清掃をしていただきました。運動会では、たくさんのボランティアの方に協力していただきました。6年生の金管演奏では、地域の方からボランティアで指導していただきました。また、藤新田寿会様からは、毎年、たくさんの雑巾を寄付していただいております。この他にも、本当にたくさんの方々から教育活動を支援していただいております。この場を借りて御礼を申し上げます。